

令和4年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる(使命1)	1 利用者の気持ちにそった施設運営	使いやすい施設貸し出し	■横浜市市民利用施設予約システムのご案内や施設見学に対応する	継続実施	継続実施	予約システムの案内や施設見学について、随時対応しました。	【成果】 ・新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに従い、利用者同士や見学者不特定多数を集めての交流イベントを見合わせ、施設等の案内を個別に対応しました。 ・空調機故障により、使用できない室場の利用者を中心に利用の詳しい聞き取りとニーズ確認を行い、全館及び地域交流室への振替を実施しました。他の室場利用者にも振替にご協力いただくなどして最大限の対応をすることで、利用者との信頼関係を築くことができました。 【課題】 ・第2期指定管理提案の、不特定多数の集客、利用者同士の交流イベントの実現にむけて準備を行います。長期にわたる新型コロナウイルス感染症対応により、地域団体やサークルが縮小・解散するケースも散見されるため、活動状況のヒアリングからの準備が必要です。
		来館者・利用者のニーズの把握に努め、ホスピタリティ向上等につなげる	■利用者の意見を収集・分析し、優先順位をつけて対応して業務改善につなげる	実施	実施	夏冬2度、長期にわたるスタジオB/Dの空調機故障により、練習利用できる室場の調整を行うとともに、窓口や電話で直接ご意見を伺いました。スタジオ機材については、破損が頻発して各室配備の機種が流動的になったため、最新情報を受付に集約するとともに取り扱いの注意喚起を行いました。	
			■ウェルカム・プラザ準備のため、施設利用や団体のニーズ調査を行う	実施	調査実施	先行する吉野町の状況をヒアリングし、岩間に落とし込む手法を検討しました。	
	2 施設の周知と利用団体の紹介	施設紹介動画の作成・公開	□施設紹介動画の作成・公開	実施	企画/準備	市民プラザ2館のホームページの情報を揃え、わかりやすいものに改編していきます。今年度は、アクセス動画やステージの可動動画を公開することとし、準備しましたが、子育て支援施設が入居することとなったため、工事終了を待って次年度に撮影・公開します。(吉野町は先行して公開)	
			□施設見学会「ホールたんけんツアー」	1回	未実施	新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに従い、計画を見合わせました。先行事例について聞き取り調査を行いました。	
			□来て見て市民プラザ	1回	未実施		
2 文化芸術活動への参加の機会を提供する(使命2)	1 多様な糸口をもったあいの事業の開催 文化芸術の体験講座の実施	音楽講座	□二胡講座	1講座/6回 8名	1講座/23回 発表会/1回 体験講座/1回 12~10名	映像講座を除き、概ね予定通り実施しました。夏季に予定していた映像講座は、新型コロナウイルス感染症対策で地域のイベントが中止になったことから、計画を見合わせました。	【成果】 ・体験講座、鑑賞型公演ともに概ね計画通り実施することができました。新型コロナウイルス感染症対策で千鳥配列やグループディスタンスで開催したホール公演も、夏には定員もどし、徐々に以前に近いお客様を迎えることができるようになりました。 ・新型コロナウイルス感染症対策から地域や企業のイベントが中止になり、映像講座やアウトリーチ事業を実施することができずでしたが、地域の団体のホールでの協力事業が増え、幅広い年代のお客様を迎えることができました。 【課題】 ・地域アウトリーチは、イベントについて地域団体や企業の意向を確認し、寸断された関係を再構築する必要があります。
		美術講座	□横浜出前美術館ワークショップ	1講座/ 8名	1講座/1回 10組25名		
		演劇・芸能講座	□岩間落語塾	2講座/各6回 6名	2講座/各12回 岩間寄席/2回 5名		
		文化芸術活動に役立つ講座	□着付教室	1講座/24回 10名	1講座/24回 8~5名		
		映像講座	□映像制作講座	1講座 10名	未実施		
	2 アウトリーチ事業の実施	オンラインでのイベント開催	□プラザ発・お届けイベント	1回 参加8組	未実施	「市民プラザチャンネル」の開設を見合わせたため、オンラインイベントも中止としました。	
		文化団体や文化活動をする人を支援する	□音楽の贈り物@ほどがや	2回 参加200名	イベント中止	新型コロナウイルス感染症対策で地域のイベントが中止となり、受託・共催で行う事業は実施できませんでした。	
		保土ヶ谷・横浜の魅力を発見する	□歴史と文化の街めぐり	1回 20名	イベント中止		
			□ほどがや歴史町歩き(ヘリテージ)コンサート	1回 100名	イベント中止		
			□東海道ほどがや宿☆魅力発見！シリーズ	1回 100名	1回 110名		
横浜芸術アクション事業「横浜音楽祭2022」への参加・協力	□18区コンサート	1回	1回 149名				
3 多様な糸口をもったあいの事業の開催 講座・体験・参加を取り入れた鑑賞型事業の実施	クラシック音楽を軸にしたコンサート	□午前の音楽会	6回 平均150名	6回 平均130名	鑑賞型事業を計画通り実施しました。6月までは千鳥配列もしくはグループディスタンスでの販売で定員が少なかったこと、コロナの影響で集客が回復するまでに時間がかかったことから、朗読・映像事業以外は入場者目標に達することができませんでした。		
	ポピュラー音楽公演	□レクチャーコンサート	1回 90名	1回 96名			
	民族音楽公演	□シルクロードの旋律を奏でる	2回 平均150名	2回 平均129名			
	邦楽公演	□邦楽いろはにほ □(業務計画外)地歌と横浜芸者が伝える横浜音楽今と昔	2回 平均125名	2回 平均104名			
	朗読公演	□朗読と音の調べ	1回 125名	1回 166名			

令和4年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

		映像公演	□サイレントシネマ&活弁ワールド	1回 150名	1回 161名		
3 次世代を担う人材を育む (使命3)	1 子どもや親子が文化芸術体験の芽を育めるような事業の開催	近隣保育園との連携	□子ども絵画展	1回	1回	計画通り実施しました。 「紙芝居会」は大雨の中での開催となり、当日キャンセルが多く集客面で苦戦しました。 日舞ワークショップは、吉野町市民プラザで2日間のアウトリーチ講座を実施しました。会場が板の間で踊りにくい点もありましたが、今後の講座運営につながる事業となりました。	【評価できる点】 ・新型コロナウイルス感染症対策をしつつ、子どもを中心としたさまざまな文化・芸術を経験できる事業を実施したことが確認できます。 ・横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラムを実施し、複数の学校へ文化、芸術の体験機会を提供できたことが確認できます。今後も継続して子どもたちへ経験できるプログラムを実施されることを期待しております。
		「ほどがや えかたり〜べ」との協働	□紙芝居会	1回	2回		
		夏休み講座)小学生対象	□子どものための日舞ワークショップ	1回	1回 吉野町:1回		
	2 子どもたちの芸術活動の機会の創出	アーティストとともに学校に向く	□横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム	5校	5校	計画通り実施しました。 11月稲荷台小学校のアウトリーチは、講師の体調により日程変更することとなりました。学校側の柔軟な対応により、カリキュラムを完遂することができました。プログラムの内容も満足度の高い学びとなりました。	【更なる取組を期待する点】 ・若い世代向けの取組(中高生のジュニア割引やギャラリーU25プラン)が利用されていないことについて、検証をしてください。 ・若い世代をターゲットに、今後も施設の利用を繋がるような取組をすることを期待しております。新型コロナウイルス感染症の影響で「ウェルカムジュニア」が今年度については、ホールでのピアノ演奏体験になってしまいました。令和5年度以降は、施設の業務を知ってもらう機会となることを期待しております。 ・大学との連携については、仕事体験プログラムや舞台裏を知るプログラムなど、一般の利用者では確認できない内容をカリキュラムなどを検討し、連携ができるよう検討してください。
		「NPO法人横浜こどものひろば」との連携	□ゼロ歳からの中高生のための地域劇場	2回 350名	10回 1,294名	会場の広さと平土間の使い勝手の良さから、共催・協力枠以上に音楽や演劇公演が開催され、多くの子どもたちに体験機会を提供できました。	
		子どもも参加できるイベントを開催	□音楽の贈り物@保土ヶ谷(再掲) □ホールのピアノを弾いてみよう、小中学生対象	(再掲)	実施	自主事業は計画通り実施できましたが、地域へのアウトリーチ事業はイベント中止により、実施できませんでした。	
		3歳から入場可能なコンサート	□午前の音楽会(再掲)	(再掲)	実施		
	3 若い世代の文化芸術活動を応援	ニーズ調査と取り組み方法の検討	■公演チケットの中高生ジュニア割引	調査実施	1回	中高生の需要を確認するため、レクチャーコンサートで学割を行いました。利用がありませんでした。	
			■ウェルカムジュニア「施設のお試し体験」お仕事体験	調査実施	代替え実施	新型コロナウイルス感染症対策から、小中学校側から地域にでて社会学習する「お仕事体験」の要請がなく、自主事業としても、子どもたちが直接利用者と触れ合う事業をすることができませんでした。代わりに、ホールでのピアノ演奏体験を企画・実施しました。	
			■近隣大学との連携	調査実施	実施	広報の相互協力を行いました。	
			■ギャラリーU25プラン	実施	継続実施	U25事業を継続していますが、申請がありません。	
	4 新たな文化芸術への触発・経験の機会を提供	初めてのの方に親しみやすわかりやすい、鑑賞事業の実施	□午前の音楽会(再掲) □シルクロードの旋律を奏でる(再掲) □サイレントシネマ&活弁ワールド(再掲) □朗読と音の調べ(再掲) □レクチャーコンサート(再掲) □(業務計画外)落語会	(再掲)	実施	計画通り実施。 計画外ですが、落語会開催に協力しました。	
	5 市民の力を引き出すための、市民とともに企画した事業の実施	利用団体の活動支援、団体同士の交流	□岩間 ROCK SPACE	1回 参加8組	1回 9組/36名	計画通り実施しました。 新型コロナウイルス感染症対策のため、楽屋を1団体1室とし、交流会の開催も断念したため、団体間の交流の目的を達成することが困難でした。とはいえ、出演者が観客として他のバンドを応援しており、友好的関係を築くことができました。	
		落語塾OBの活動の場を提供、他の講座との交流	□岩間寄席	2回 280名	2回 278名	計画通り実施しました。	
		映画愛好者団体、岩間シネクラブの交流	□岩間シネクラブ(上映会)	4回 500名	3回 323名	「思い出名画館」を終了し、「岩間でシネマ」に仕切り直しするため、8月の上映会を取りやめ、3回としました。	
□岩間シネクラブサロン交流会			2回 30名	代替え実施	新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに従い、交流会を見合わせました。代替えとして、メッセージボードにお客様の声を集め、1週間掲出しました。		
保土ヶ谷国際交流ラウンジへの協力	□「子どもの勉強会」への協力	2回	36回	予定より多くのコマを半額減免で提供しました。子どもたちの学習の一助としています。			
アートネットワーク会議やヒアリングでニーズをくみ上げ、その活動を活性化します	■令和5年度開催にむけた、アートネットワーク会議の検討	準備	準備実施	・近隣団体を訪問し、ニーズを受けて、ホールでのイベントを1件誘致しました。 ・関内ホール、吉野町市民プラザとの打合せを重ね、3館連携企画を検討しました。			

令和4年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

6	文化団体や文化活動をする人の活動への協力	市民の文化活動を支援	<input type="checkbox"/> 市民プラザチャンネル(再掲) <input type="checkbox"/> 音楽の贈り物@ほどがや(再掲) <input type="checkbox"/> 来て見て市民プラザ(再掲)	(再掲)	中止 イベント中止			
			<input type="checkbox"/> 「出前寄席」への、備品貸出・広報協力	随時	実施	要請に応じ、落語会の広報に協力し、備品の提供を行いました。		
		区内文化団体への協力	<input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区民文化祭への協力 美術展、写真展、茶華道展、 高齢者作品展	1回 参加600名	1回/3事業 884名	「写真展」「華道展」「高齢者作品展」に会場を提供し、多くの市民の方にご鑑賞いただきました。		
		借恵いわまワークスへの協力	<input type="checkbox"/> 「わくわくマーケット」への協力	1回 300名	中止	それぞれコロナ感染症対策を考慮され、「わくわくマーケット」は中止、「ほどがや国際フェスタ」は世界の食の紹介無し、公演・講座ともに事前予約のみでの開催となりました。		
		保土ヶ谷国際交流ラウンジへの協力	<input type="checkbox"/> 「ほどがや国際交流フェスタ」への協力	1回 300名	1回 270名			
評価項目		令和4年度計画			実施状況		評価	
I 文化事業		指定管理者提案(要旨)		取組内容	目標	年間実績	説明	
4	文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける(使命4)	1	市民が行う文化芸術活動を通じた街づくり活動の支援と協働	文化芸術の力で、人と街と施設をつなげる取り組み	<input type="checkbox"/> 東海道ほどがや宿☆魅力発見！シリーズ(再掲) <input type="checkbox"/> 保土ヶ谷オープンヘリテージコンサート(再掲)	(再掲)	1事業実施 1事業中止	新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン等によりアウトリーチ会場が使用できず、施設に会場を移し、企画を統廃合して実施しました。レクチャールームでの講座をホール開催としたことで、より多くのお客様に横浜の知の資源を紹介し、県立博物館収蔵資料で横浜の歴史を専門的に学ぶ機会を提供することができました。ギャラリーで開催したパネル展は、保土ヶ谷区オープンヘリテージ事業の縮小もあり、目標入場者数の半分程度となりました。
					<input type="checkbox"/> 歴史的建造物めぐりパネル展	1回 250名	1回 113名	
					<input type="checkbox"/> 地域理解講座	1回 30名	1回 ホールに変更 110名	
		2	市民と施設の良好な関係を築き、地域コミュニティの中核として認識される運営の実行	文化芸術の力で人と人、人と情報につながる取り組み	<input type="checkbox"/> 借恵いわまワークス「わくわくマーケット」協力(再掲) <input type="checkbox"/> 「ほどがや国際交流フェスタ」協力(再掲) <input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区民文化祭協力(再掲) <input type="checkbox"/> ゼロ歳からの中高生のための地域劇場協力(再掲) <input type="checkbox"/> 「エンディングノート」上映会(新規) <input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区学齢障害児余暇活動支援(新規)	(再掲)	要請に応じ対応 2事業を追加	行政や地域団体からの要請を受け、文化事業の開催に協力しました。新規の要請2事業にも対応しました。
		3	近隣文化施設や各種文化団体、商店街、自治会等とのネットワークの構築、連携事業の実施	地域の施設間連携事業	<input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区地域デザインセミナー参加	実施	不参加	各団体それぞれが新型コロナウイルス感染症対策を考慮され、イベントの中止や時期の変更、企画の見直し等が行われるなかで、当館としても可能な限り調整し、実施・参加しました。
				近隣商店街との共同事業、広報連携	<input type="checkbox"/> 音楽の贈り物@ほどがや(再掲)	(再掲)	イベント中止	
				文化施設ネットワーク	<input type="checkbox"/> 市民プラザ・区民文化センター館長会	4回程度	3回	
				地域商店街・市民団体との連携	<input type="checkbox"/> 東海道ほどがや宿☆魅力発見！シリーズ(再掲)	(再掲)	統廃合して開催	
				ほどがや人・まち・文化振興会との連携	<input type="checkbox"/> 歴史的建造物めぐりパネル展(再掲)	(再掲)		
東海道風景街道との連携	<input type="checkbox"/> 地域理解講座(再掲)	(再掲)						
4	事業プロモーション活動を通じた地域への人の呼び込みと地域のにぎわいの創出	共同事業体の強みを活かした広報活動	<input type="checkbox"/> tvk番組内での告知、広報	隔月	情報番組 5回 帯(スポット) 4本	企画内容や販売状況に応じて、広報の方法や時期を調整しました。販促状況により広告を取り下げ、売後後にCMが流れないよう機敏な対応ができました。		
		文化事業・地域情報の情報拠点を提供	■情報コーナーでの地域情報の提供	通年	通年実施	近隣活動団体の制作物(マップ)等も展示しました。		
5	みんなの市民プラザとして、様々な属性の方に配慮する	ほどがや国際交流ラウンジと連携し、外国の方が足を運びやすい環境をつくる	■やさしい日本語での案内、多言語での表記 <input type="checkbox"/> 国際交流ラウンジとの連携 日本語教室 日本語ボランティア養成講座 異文化理解講座	実施	実施	簡易な言い回しでのご案内をころがけるとともに、名札などはひらがなで大きく表記をするよう心がけました。 日本語教室等の優先予約協力、減免協力をするとともに、建物内他団体管轄の場所で行われる日本語教室の場合でも、受付ご案内の協力などを行いました。		
		借恵いわまワークスとの連携	■多様な市民への配慮 <input type="checkbox"/> 借恵いわまワークス「通所者作品展」	実施	実施	他団体の利用者の方の受付問合せに対しても、知りうる情報は提供し、できる限り丁寧な対応をするよう心がけています。 2023年度カレンダーの広報も兼ねて12月上旬に作品展を実施しました。カレンダーの原画以外の作品も展示されました。		
				1回 参加者100名	1回 148名			

令和4年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

6	市民プラザが「みんなの広場」となるような取組の実施	NPO「LANDFES」との連携	<input type="checkbox"/> 3館連携インクルーシブ・ダンスワークショップ	準備	準備実施	来年度の実施に向けて、担当者による打合せ・企画会議を実施しました。
		借恵いわまワークスとの連携	<input type="checkbox"/> 通所者作品展(再掲) わくわくマーケット(再掲)	(再掲)	作品展:実施 イベント:中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑み、通所者の方の安全を優先して、年一度行われる地域向けのイベントは中止となりました。
		国際交流ラウンジとの連携	<input type="checkbox"/> 日本語教室(再掲) 日本語ボランティア養成講座 異文化理解講座 ほ도가や国際交流フェスタ	(再掲)	実施	3階岩間市民プラザエリアのテラシラックや、掲示板に国際交流ラウンジのイベントチラシの配架・掲示をするなどの協力を行っています。
		NPO「横浜こどものひろば」との連携	<input type="checkbox"/> ゼロ歳から中高生のための地域劇場(再掲)	(再掲)	実施	比較的小さいお子様対象のイベントが多いので、来館者の年齢層が広がりました。
		保土ヶ谷区民文化祭との連携(再掲)	<input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区民文化祭との連携(再掲)	(再掲)	実施	保土ヶ谷区民文化祭各イベントの主催団体に協力をすることが出来ました。
		保土ヶ谷華道会との連携	<input type="checkbox"/> 1階ロビー 装花1台常設	通年	通年実施	一年を通して、華道会による作品の展示ができており、館の装いになるとともに、来館者の目を楽しませています。
		利用団体同士の交流	<input type="checkbox"/> 3Fロビーの共有による交流 <input type="checkbox"/> 利用団体同士の交流 「来て見て市民プラザ」(再掲)	通年 (再掲)	通年実施 未実施	3Fロビーは、国際交流ラウンジ・岩間ワークスへ来館された方にもお使いいただいています。 新型コロナウイルス感染症ガイドラインに従い、12月に吉野町で行われた例の聞き取り調査にとどまりました。
7	「市民プラザ未来開発プロジェクト」の実施	■文化芸術の力による地域コミュニティの再生	■保土ヶ谷宿場祭りに協力し、人をつないで新たな担い手を発掘する	実施	イベント中止	宿場祭り自体が中止となりました。
		■コンテンツの配信、アーカイブスの構築	■3館連携の専用サイトでの配信に向け、情報共有する	実施	準備実施	実施に向けての準備に取り掛かっており、複数回の担当者打ち合わせを実施しました。
		■次世代来館者の育成	■地域コミュニティと文化を考える、青年層を対象としたチームを組み上げる	準備	未実施	新型コロナウイルス感染症対応を考慮し、時期を見直しました。

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
II 施設運営	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
1 利用者意見の収集と対応(使命1-(2))	1 様々なニーズに対応するサービスの提供	■貸館公演のチケット販売や広報に協力	実施	継続実施	催物案内・ヨコハマアートナビへの情報掲載やチケット受託販売を実施しました。	【成果】 ・利用者の要望や意見を聞き取り、施設運営や業務改善に役立てました。特に夏場の空調機故障時は、多くの利用者に室場振替や日程調整、附帯設備の移動などのご協力をいただき、振替不能なケースにおいても大きな苦情等なく運営することができました。 【課題】 ・半導体不足により部品調達に時間がかかり、予想以上に空調機故障の影響が長期にわたりました。今回は使用できない室場が小さな室場2つで振替が可能でしたが、それ以外の室場では振替対応ができません。小破修繕に努めてはいますが、設備機器ともに老朽化が進んで全館で故障頻度が上がっており、健全な施設運営のためには先手を打った老朽化対策が必要です。	【評価できる点】 ・利用者へ意見を確認しつつ、丁寧な対応をし利用者獲得していることが確認できます。 ・施設の組織的な運営について、新採用スタッフや異動の入れ替わり時でもサービス低下にならないよう、複数ある研修を実施したことが確認できます。 【更なる取組を期待する点】 ・施設の不具合については、引き続き市との情報共有を積極的に図りつつ、施設運営に影響がでないよう進めてください。また、施設老朽化対策については、市とともに確認しつつ、日々の施設運営で気になった部分を記録するよう継続的に取り組んでください。
		■利用に関する相談・助言は、随時受け付け	実施	継続実施	定例の打合せ以外でも、対応可能な状態であれば飛び込みでの施設見学等にも対応しました。		
	2 利用率を高める工夫	■ホールのリハーサル割引期間拡大についてニーズ調査し、手法を検討 ■ホール、ギャラリーを利用内容を伺いながら直前まで受付	実施 実施	準備実施 継続実施	実施のための準備を行っています。 予約システム規定の受付期間を過ぎても対応可能な場合は予約を受け付けました。		
3 要望・ご意見を受け止め、サービスの向上につなげる	利用者アンケートやご意見箱で、リハーサル割引、U25プランのニーズ調査を行う	■ご意見箱の設置	実施	継続実施	ネットでのアンケートは回収率が低い傾向があるため、紙によるアンケート・口頭での聞き取りがメインとなっています。 実施しました。		
1 必要人材の配置と職能	必要人材の配置と職能	■共同事業体各社から業務ごとに専門性の高い職員を適正に配置する。	実施	継続実施	実施しました。		
		<input type="checkbox"/> 館長(1)、副館長(1)、サービス担当(1)、企画・コミュニティ担当(2)、運営補助(3)、受付担当(5)	配置	配置	実施しました。		
		<input type="checkbox"/> 舞台技術担当(1)	配置	配置	実施しました。		
		<input type="checkbox"/> 設備担当(1)	配置	配置	実施しました。		
		<input type="checkbox"/> 清掃担当(1)	配置	配置	実施しました。		
		■メールや日報のほか、Google共有ツールを活用して情報共有	実施	継続実施	メール・日報・共有ツール・単発のメモなどにより実施しています。		
		2 情報の共有	円滑な管理運営のための各種会議の実施	<input type="checkbox"/> 朝礼 <input type="checkbox"/> 職員会議 <input type="checkbox"/> 運営調整会議/JV会議 <input type="checkbox"/> 両プラザ連絡会議 ■企画検討会	1回/日 1回/月 4回/年 4回/年 4回/年 随時	1回/日 1回/月 4回/年 4回/年 7回以上 実施	実施しました。 実施しました。 実施しました。 実施しました。 打合せ・会議以外でも日常的に担当者による報告・相談おこなっています。

令和4年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

2 組織的な施設運営 (様式14.15)	3 主要人材の能力担保に向けた基礎研修の実施	効果的なOJTの実施	■一体プロジェクト推進会議	随時	実施	実施しました。	【成果】 ・新採用OJTと6月、1月のブラッシュアップ研修を行いました。 ・受付スタッフは4月採用を前倒して1月下旬採用とし、事務所スタッフも一部を2月異動とすることで新採用OJTの期間を十分にとりサービス維持に努めました。 【課題】 ・プラザ2館の合同研修は個別に日程を設けることが難しく、また、対象も1-2名となっています。より大勢が参加するためには施設点検日を合わせるなどの長期的なプランが必要です。
		サービスレベルの統一とホスピタリティ向上につながる研修	□接遇研修	1回/年	1回/年	実施しました。	
			□人権研修	1回/年	3.5回/年	実施しました。	
			□バリアフリー研修	1回/年	1回/年	実施しました。	
			□個人情報保護法研修	1回/年	2.5回/年	実施しました。	
			□コンプライアンス研修	1回/年	2.5回/年	実施しました。	
			□防災訓練	2回/年	2回/年	実施しました。年に一度は館の他の団体も交えての合同訓練です。	
			□危機管理研修	1回/年	1回/年	実施しました。	
			□救急救命講習/AED	1回/年	1回/年	実施しました。	
			□機材研修	1回/年	2回/年	実施しました。	
			□受付業務研修	2回/年	1.5回/年	実施しました。	
		■新採用・新規配属者研修	随時	実施	実施しました。		
		市民プラザ2館合同研修	□文化政策研修	1回/年	1回/年	実施しました。	
■アイデア研修	随時		3回/年	実施しました。			
3 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用 (様式25)	1 市内に拠点を置くメディアを代表する企業とする強みを活かした広報・プロモーションに対する取組み	従来の利用者、近隣住者の多くを占める高齢者層へは、テレビや新聞折り込み、市の情報誌で情報発信	□tvk「猫のひたいほどワイド」等、昼の情報番組やスポットCMでの告知	2回/年	情報番組5回帯(スポット)4本	サイレントシネマや落語など、遠方からの集客も期待できるイベントの場合は特に、テレビ媒体による広報は効果的と思われます。	
		□地域メディア「タウンニュース」「相鉄瓦版」への掲載	2件/年	「広報よこはま」以外に4件/年	近隣在住の方への広報は地域メディアによる広報が大変に有効です。		
		■施設ホームページを基本に、施設利用促進や自主事業の情報発信を行う	実施	実施	ホームページでは自主事業・協力事業の広報を中心に行いました。		
		■SNSの活用方法を検討する	実施	実施	SNSについては、管理の手法も含めて検討中です。		
	情報弱者に寄り添った、無料で入手できる媒体の活用	□「催し物案内」を発行し、近隣施設等でも配布	12回/年	12回/年	実施しました。		
		□「広報よこはま」「タウンニュース」「相鉄瓦版」での情報発信(再掲)	(再掲)	実施	実施しました。		
		■吉野町市民プラザ、関内ホールと連携し横浜全体で楽しむ事業を展開する	実施	実施	スタッフとの相互派遣や3館連携事業に向けての打合せなどを実施しました。		
2 関内ホールとの3館連携	■吉野町市民プラザ、関内ホールと連携し横浜全体で楽しむ事業を展開する	実施	実施	スタッフとの相互派遣や3館連携事業に向けての打合せなどを実施しました。			
3 コミュニティ形成への寄与	■こども110番あんしんの家に登録し、地域の安心拠点として活動する	実施	継続実施	こども110番の登録実施済みです。			
4 その他施設運営に関する事項	1 休館日の届け出	■休館日、開館時間について年度ごとに横浜市へ届出を行う	実施	実施	実施しました。	【成果】 ・横浜市への届け出を行い、調査等に対応しました。 ・複合施設の1つである、三師会館が退去し、保土ヶ谷区子育て支援拠点こっこサテライトとなることから、建物全体の防災計画を根本から見直し、消防計画等を整えました。 また、正面の案内標識を更新し、子どもの目線にも入る案内表示としました。これに伴い、旧標識の撤去について届出をしました。 ・行政監査に協力し、指導を受けた点については是正をしました。継続案件については、定められた期限内に是正します。 【課題】	
	2 許認可及び届け出	■許認可の取得や届出を必要とする場合は関係各所に対し適正に申請を行う	実施	実施	実施しました。 大きな変更ポイントとしては、来年度開所の「保土ヶ谷区子育て支援拠点こっこサテライト」の準備等のため、消防計画等を整え、共同防火管理についての変更をしています。		
	3 目的外使用料の申請	■自動販売機等の目的外使用の手続きを実施	実施	実施	実施しました。		
	4 財務状況の確認	■横浜市の要請に応じ財務状況について確認できる書類を提出する	実施	実施	実施しました。		
	5 行政機関が策定する基準などの遵守	■行政機関が制定する基準などを遵守	実施	実施	実施しました。		
	6 法律の制定及び改正への対応	■法律が制定及び改正された場合、横浜市と協議し対応	実施	実施	実施しました。		

令和4年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価			
Ⅲ施設管理	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価		
1 保守管理業務 (使命5)	1 施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	設備保守管理業務	■日常的な設備点検、清掃等、環境に配慮した清潔で安全・安心な施設管理を行う	実施	実施	実施しました。	【成果】 ・日々の点検を行い、巡回して建物や設備のチェックを行い、小破修繕を心掛けました。 ・貸出の前後に機材や備品をチェックし、破損等があれば速やかに部品交換や修繕を行って利用者にご不便の無いよう努めました。また、機材研修や修繕作業を共有することなどにより、チェックの精度を上げています。 ・スタジオ機材やドラムの故障は利用中止につながるため、故障対応できるよう予備機材の確保に努めました。 ・故障が頻発した機材の取り扱いについては、具体的なポイントを示した図や故障部品を載せた注意喚起を掲出し、再発防止に努めました。 【課題】 ・半導体不足により部品調達に時間がかかり、予想以上に空調機故障の影響が長期にわたりました。小破修繕に努めてはいますが、設備機器ともに老朽化が進んで全館で故障頻度が上がっており、健全な施設運営のためには先手を打った老朽化対策が必要です。	【評価できる点】 ・日常的な施設点検や清掃を着実に実施し、施設を維持保全できています。 ・スタジオ機材やドラムの故障などの故障に備え、予備機材を確保し、利用中止に繋がらないよう未然に防ぐ取組をしていることが確認できます。 【更なる取組を期待する点】 ・施設の不具合については、引き続き市との情報共有を積極的に図りつつ、施設運営に影響がでないよう日常的に確認するよう努めてください。 また、施設老朽化対策については、市とともに確認しつつ、日々の施設運営で気になった部分を記録するよう継続的に取り組んでください。	
			■「業務の基準別添資料 6」に基づき、法定点検・日常点検・定期点検・清掃を実施	実施	実施	実施しました。			
			■常駐設備員による日常巡回で施設設備の不具合の有無を点検する	実施	実施	実施しました。			
			■舞台周りを適切に管理することで舞台設備の維持管理と運用を図る	実施	実施	実施しました。			
			■併設施設である、催しいわワークス、国際交流ラウンジ、三師会館、老人クラブ連合会についても施設面のアドバイスをを行う	実施	実施	実施しました。			
		計画的な修繕	■日常巡回で不具合を軽微なうちに発見し、初期対応することで未実施の不具合箇所を減らす	実施	実施	実施しました。			外的な要因(半導体不足により部品調達が困難等)により迅速な対応ができない部分もありました。
			■中長期的な修繕計画を立て、施設・設備・備品等の長寿命化に努める	実施	実施	実施しました。			
			■不具合対応は優先的順位をつけながら、横浜市と協議の上修繕を行う	実施	実施				
		備品等の適切な管理	■「業務の基準」に則り、物品管理簿により備品を管理	実施	実施	実施			物品管理簿の確認作業を実施しています。
			■スタジオ入れ替え時等の機材点検で備品の状態を把握	実施	実施	実施			日常的な点検を実施しています。
			■備品の更新は長寿命化と経費節減の観点で横浜市と協議	実施	実施	実施			実施
		2 環境維持管理業務 (使命5)	1 施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	日常清掃・定期清掃	■「管理基準」により、地球環境に配慮しながら、快適な環境を維持する	実施			実施
感染症対策	■日常清掃や施設利用時、点検時にアルコール等を用いた除菌を行う			実施	実施	実施しました。			
廃棄物処理及び環境への配慮	■年間排出計画を定めて適切な分別、リサイクル化の推進など廃棄物の発生抑制に努める			実施	実施	実施しました。			
空気環境測定	□隔月実施			6回/年	6回/年	実施しました。			
3 保安警備業務 (使命5)	1 施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	開館時の対応	■開館中は施設内巡回、ITVで常に状況を把握し、異常が疑われる際には職員が現場確認して関係機関に通報する	実施	実施	実施しました。			
		閉館時の対応	■最終退館から出勤までは機械警備で監視し、異常時は警備スタッフが急行する	実施	実施	実施しました。			
	2 地域の安心拠点としての行政や警察との連携	子どもへの配慮	■こども110番あんしんの家に登録し、地域の安心拠点として活動(再掲)	(再掲)	継続実施	継続して登録しています。			
4 防火・防災等 (使命5・様式14)	1 平常時の防災対策	消防法への対応	□消防法に基づき、甲種防火管理者を選任した上で防災計画書を作成する	実施	実施	12月に三師会館と区老連が退去し、1月から保土ヶ谷区地域子育て支援拠点こころサテライト(3/31開所)になったことから、事業所ごとの避難に共同防火管理の方針を変更。共同防火管理協議会と全体消防計画を全面的に見直し、消防署に提出しました。	【成果】 ・三師会館が退去し、保土ヶ谷区子育て支援拠点こころサテライトとなることから、建物全体の防災計画を根本から見直し、消防計画等を整えました。 【課題】 ・乳幼児や高齢者、障がい者の在館が増え、避難場所への誘導や建物避難などでケアが必要な人と介助者の割合が大きく変わります。今年度修正した消防計画等は、避難訓練などを通じて課題をみつけ、各事業所がどのように連携するかなど見直す必要があります。		
			□統括防火管理者を選任し、全館合同で防災訓練を実施する	防災訓練 2回	選任:1名 防災訓練 2回	実施しました。			
			□複合施設の管理者連絡会を定期的に開催し、情報を共有して日常の防火・防災に努める	3回/年	3回/年	管理者連絡会を定期的に開催し情報共有に努めました。			
		防災マニュアルの作成	■横浜市防災計画に基づき、対応マニュアルをあらかじめ作成する	実施	実施	実施しました。			
	AEDの配備	■AEDを導入し、適切な管理及び職員への十分な操作研修を実施する	実施	継続実施	実施しました。				
2 災害時の対応	河川増水時の対応	■川の水位や潮位、防災無線に留意し、防潮板設置基準に従って建物への浸水を防ぐ	実施	実施	実施しました。				

令和4年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

5 緊急時の対応 (使命5・様式14)	1	施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	地域との連携	■保土ヶ谷区と連絡を密にとり、要請があった場合には避難者を受け入れます。併せて、福祉避難所である備えいわワークスと連携を図る	実施	実施	横浜市・保土ヶ谷区からの打診をうけ、帰宅困難者避難受入れについて調査中です。	【成果】 ・複合施設を構成する4つの事業所は、定期的に開催する4者連絡会のほか、日常的に情報共有に努めています。特に、大雨が予想される場合は、事前に対応を協議し、防潮板設置のタイミングを計るなど、連絡を密にとりました。
			施設管理者の災害備蓄	■大規模災害に備え、保存食や簡易トイレなど災害備蓄品を常備し、適切に維持管理します。	実施	実施	実施しました。	【課題】 ・3/31に横浜市と保土ヶ谷区から、帰宅困難者支援等についての相談がありました。検討に当たっては、プラザだけでなく、複合施設の入館者避難や福祉避難所との住み分け等、建物全体での調整を行う必要があります。
6 感染症等衛生管理 (使命5)	1	施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	新型コロナウイルス等の感染症対策	■利用の入れ替え時に、客席や手すり、備品やスイッチ類をアルコール等で消毒する	実施	実施	実施しました。	【成果】 ・貸し出し施設については利用者の入れ替え時に、共有スペースはお客様の切れ間に、消毒を行いました。 ・機械換気のほか、貸し出し施設は1時間ごとに、共有スペースは常時窓開け換気を行いました。 【課題】 ・1時間に1回の換気のため、特に夏季は室温維持にエネルギー消費が必要になりました。
				■人の流れをみながら、受付や共用スペースの消毒をこまめに行う	実施	実施	実施しました。	
				■空調設備や給排気システムを点検し、貸出施設や共用スペースの換気量を維持する	実施	実施	実施しました。	
7 その他施設管理に関する事項	1	施設の管理を行う上で必要な資格者の配置		□電気主任技術者(第3種)	配置	配置	配置しました。 【成果】 ・配置しました 【課題】	

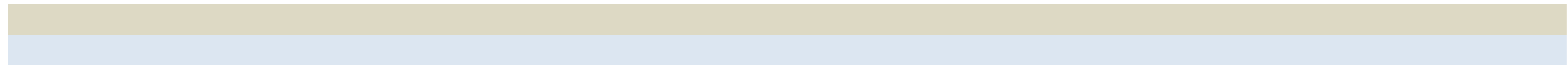
評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
1 利用率の目標設定 (様式22-C)	1 利用率の目標	□ホール(日単位)	92%	88%	利用者が徐々に戻ってきておりますが目標に達していませんでした。連続利用よりも単独のコマの利用が多くなっています。	【成果】 ・新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインが徐々に見直され、利用率も回復傾向にありますが、目標を達成することができませんでした。 ・夏季のスタジオB/D空調機故障による振替室場確保により、貸出できる室場が大幅に少なくなりました。利用率では、利用不可とした室場を除かず、本来貸出可能なコマ数を分母としています。 【課題】 ・利用が徐々に戻ってきていますが、公演より練習会場としてのニーズが増え、連続した利用から、1コマ利用にシフトしています。	【評価できる点】 ・幅広く広報を実施し、新たにチラシの配架先を確保した取組については評価できます。 ・補助金、助成金を得て外部資金を得ることができました。今後も工夫しながら件数を増やせるよう取り組んでください。 【更なる取組を期待する点】 ・施設利用率については、レクチャールームを除き、目標を下回りました。新型コロナウイルス感染症の影響も思いますが、利用率向上させるための取組は継続的に必要です。 ・物価高騰により、工夫しながらもどのように乗り越えることができるかが今後も継続的な課題となっています。補助金の他にクラウドファンディングなど具体的にどのようなかを検討してください。
		□ギャラリー(日単位) ※予約は週単位	53%	47%	目標に及びませんでした。目的外の利用も受け入れ、利用率を上げる努力を継続中です。		
		□リハーサル室(コマ単位)	73%	54%	ダンス等の利用が減少傾向にあります。音楽利用の希望が多くなってきておりますが、目標には及びませんでした。		
		□レクチャールーム(コマ単位)	60%	64%	年度末に向けて徐々に利用率は増えてきておりますが、目標には達していませんでした。		
		□スタジオ(4室平均)(コマ単位)	81%	81%	スタジオ平均の目標には達しましたが、小さいスタジオの需要が大きいです。また、全体的に見ると、連続時間数は減ってきております。		
2 指定管理料のみに依存しない収入構造 (様式23)	1 収支の安定に向けた取組	共同事業体それぞれの専門性を活かした、事業収入の安定化を実現します	■さまざまな広報媒体を通じて、事業のプロモーションを行う	実施	実施	紙・TV・ネットなど複数の媒体を用いての広報を実施しています。	【成果】 ・新規に、イオン天王町2階や横浜駅相鉄線ホームにあるラックをチラシ配架先に確保することができました。公演チラシの他、施設催し物案内を配架し、ホールやギャラリーのお客様利用の宣伝に努めました。 【課題】 ・ホールは昼コマ利用が多く、新規利用者獲得のためには1コマ利用、しかも、午前コマ、夜コマのニーズを探する必要があります。
		安心安全で使いやすい施設運営で、利用率と利用料収入の向上を目指します(様式24-C)	□施設、附帯設備、駐車場利用料	17,000,000円	¥13,860,000	目標に達していませんでした。	
		新たな利用者の獲得により、利用率向上を図ります	■頻度の多い利用形態のサンプルプランを示して利用料金の総額を示す	実施	実施	ホールの照明セットプランを実施しています。	
			□新規利用者獲得取組を導入する	2件/年	2件/年	商業施設や地域のケアプラザとつながり、ホール利用につなげました。	
	2 収入増への取組(使命5)	外部資金の導入	割引優遇制度など独自の利用料金制度が利用促進につながるか、調査・検討します	■ホール:リハーサル割引期間の拡大(再掲) ■ギャラリー:U25プラン(再掲)	(再掲)	継続実施	U25プランは引き続き広報中、ホールのリハーサル割引については引き続き調査を行っています。
			■要望に応えるため、料金設定のない場所について撮影料金を新設する	実施	未実施	今年度は実施していません。	
■広告収入、協賛金、助成金、クラウドファンディング等での資金獲得を積極的に行います				実施	1件/年 ¥619,467	1件の助成金を得ました。	
□外部資金獲得のため情報を収集し、補助金等に申請します				1件/年	1件/年 (¥136,000)	1件の補助金を得ました。	
		■クラウドファンディングの具体的な手法を検討する	実施	準備実施	検討をしています。		

令和4年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

3 経費削減等効率的運営の努力 (様式23)	1 効率的な施設運営に向けた取組	事業への対応	□年間の事業収支バランスをとり、支出が収入を上回らないようにする ■共同事業体本社の応援により、外部発注による経費を抑制する	±0円以上	▲20千円	コロナによる自主事業の定員減や集客減、空調機故障による利用料金収入減、水道光熱費の大幅な値上げなどありましたが、四半期ごとに収支を確認し、収支バランスを取るよう努めました。	【成果】 ・事業収入と事業費(直接費)のバランスは取ることができました。 【課題】 ・収益化については、大幅に高騰した光熱水費をはじめとした物価高について、どのように対処すべきか。工夫で乗り越えられる金額ではなく、大きな課題となっています。	
		発注や事務への対応	■見積合わせや電力調達の合同入札により、支出を抑える ■事務用品の再利用や計画的な業務遂行により、経費や作業時間の節減を図る	実施	実施	実施しました。		
		施設・設備管理への対応	■効率的な運用で事務費・管理費等を削減。職員の意識を高めて経費削減を徹底する	実施	実施	実施しました。		
			■感染症対策のための換気を優先しつつ、使用量を削減して、光熱水費削減に努める	実施	実施	実施しました。		
			■点検により施設と設備の状況を把握し、計画的に修繕して経費の平準化と抑制を図る	実施	実施	実施しました。		
		人件費への対応	■グループウェアや共有サーバーを活用して情報を共有。業務を補完するとともに、貸館や来館者対応を全員で行い超過勤務を抑制する	推進	実施	実施しました。		
		執行管理への対応	■毎月の試算表により執行管理を行い、期中の仮決算で収支予測を立て、修正予算を作成することで収支のバランスを取る	実施	実施	実施しました。		
V 各種計画書・報告書の作成及び業務評価	業務の基準		取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
各種計画書・報告書の作成	1 日報、月報の作成・管理	□業務日報の作成	実施	実施	継続して実施しています。	【成果】 ・予定通り作成、提出しました		
		□管理運営月報・完了確認表を作成し、モニタリングにおいて報告	実施	実施	実施しています。			
	2 事業計画書・事業報告書の作成・管理	□事業計画書(業務計画・業務計画表)の作成	実施	実施	実施しています。			
		□モニタリング時における業務計画表での進捗報告、および事業報告書の作成	実施	実施	実施しています。			
3 業務評価の実施		□自己評価	実施	実施	実施しました。			
VI その他	選定要項		取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
1 市の重要政策課題への対応 (様式26)	1 個人情報保護についての取組	個人情報の保護に関する法令等を遵守し、個人情報を適正に取り扱います	■「個人情報取り扱いマニュアル」を整備し、ダブルチェックを徹底します	実施	実施	実施しています。	【成果】 ・全体研修の他、スタッフが入替わるたびに個別の研修を実施するなど、情報管理については徹底して研修を行いました。 ・日常業務でも、郵送やFAXなど、ダブルチェック、トリプルチェックを徹底しました。	【評価できる点】 ・個人情報の取り扱いについて、ダブルチェックだけでなく、トリプルチェックまで徹底して実施していることが評価できます。個人情報の扱いや確認について注意しながら対応してください。
			□個人情報研修(再掲)	1回/年	2回/年	実施しています。		
	2 情報公開についての対応	情報発信	■ホームページ等で業務計画、業務報告、事業・施設の状況を積極的に提供する	実施	実施	実施しています。	【課題】 ・コロナ感染症対策として、利用の入れ替え時に消毒を行っています。消毒に必要なウエスやシート等、密封するための袋等のゴミが出るため廃棄物の削減が難しく、また、感染症対策の観点からウエス等の資源再生もできません。	【更なる取組を期待する点】 ・施設スタッフの人異動や新採用職員などのタイミングで個人情報情報が漏洩する事案が起きています。チェックする体制を維持し、利用者へ対応が必要な事案については、取扱いに注意して対応するようにしてください。
		公開請求への対応	■「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に準じて作成した「情報公開規程」等に基づき適正に対応する	実施	継続実施	実施しています。		
3 人権尊重についての取組		□人権研修(再掲)	1回/年	3.5回/年	実施しました。人事異動があった場合は都度研修を行います。	・岩間市民プラザ建物内の構成が変わりましたことで、利用者の年齢層が変わっているため、建物内で気になる点があれば、併設している施設と情報共有をしながら連携をするようお願いいたします。		
4 環境への配慮について	エネルギー使用量の削減	■施設の利用状況に合わせて不要な点灯や空調稼働を最大限抑止する	実施	実施	実施しました。			
	廃棄物の削減と資源再生	■広報手法の多様化にあわせ公演チラシの作成部数を抑制する ■利用者によるごみの分別状況を確認し、分別の徹底を依頼する	実施	実施	実施しました。			

令和4年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

2 その他	5	障がい者に対する差別解消について	□障がい者対応研修(再掲)	1回/年	1回/年	実施しました。	【成果】 ・複合施設の他の事業所と連携して合同防災訓練を実施しました。 ・保土ヶ谷区子育て支援拠点こころサテライトの工事や正面玄関案内標識の更新、防災計画の見直しでは、プラザが調整役となり、相互に協力し、連携することができました。 ・地域イベントがいくつも中止となりましたが、地元自治会や区の文化祭実行委員会に協力しました。	【課題】 ・次年度から複合施設の構成が変わります。乳幼児と保護者の利用に注視し、日常利用や非常時の課題を見つけていく必要があります。	
	6	男女共同参画についての対応	□男女共同参画の取り組みについての研修	1回/年	1回/年	実施しました。			
	7	市内中小企業優先発注について	■「横浜市中小企業振興基本条例」に鑑み、可能な限り、市内に主たる事務所を有する中小企業に優先的に業務を発注する	実施	実施	近隣中小企業への発注を心掛けました。			
	1	保険及び損害賠償の取扱い	■「指定管理者業務の基準 別添資料」に基づき施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入する	実施	実施	実施しました。			
	2	関係法令等の順守	■現行の関係法令を順守するとともに、法令改正に気を配り、契約等の前に確認する	実施	実施	実施しました。			
	3	市及び関係機関等との連絡調整	横浜市との連携	■事故や不具合時は速やかに報告し、随時共有する	実施	実施			実施しました。
			複合施設の連携	■併設する施設(借恵いわまワークス、ほどがや国際交流ラウンジ、三師会館、区老連)と連携し、運営改善や防災、修繕について検討する	実施	実施			実施しました。特に今年度は区分所有者の入れ替え(「区老連」から「こころサテライト」へ)があったため、密な連絡となりました。
				□情報共有や運営改善のための連絡会を定期的に開催	3回/年	3回/年			実施しました。
			地域との連携	■地域組織の会合等に参加する	実施	実施			地域の団体の会合等には努めて参加を心掛けました。
	4	2つの市民プラザを一体で運営し、さらに関内ホールも含めた3館連携、またその先の連携を目指す	■2館連携、3館連携事業を企画・実施する	実施	実施	・岩間の日舞WSを吉野町版にカスタマイズして開催しました ・公演の音楽事業(対バン企画)を協力して実施しました ・3館連携事業をダンスダンスダンスを基準に検討しました ・それぞれのプラザで活躍するアーティストを紹介し、2館がコラボレーションする公演の実現に向け、準備を行いました			【成果】 ・吉野町と2館協力して日舞WSを、関内ホールと3館協力して対バン公演を実施。スタッフを派遣し人員を増強することで単館では難しい事業に取り組みことができました。 ・「猫のひたいほどワイド」は交互広報を基本としますが、事業時期や販売状況により日程を調整して効果を上げることができました。 ・アーティストの交流や3館を使う合同事業を計画し、準備を行いました
■tvk「猫のひたいほどワイド」番組内コーナーでの事業告知を両プラザ交互に行う			実施	情報番組5回帯(スポット)4本	実施しました。とくにスポットCMは今年度は4本実施することが出来ました。				
■人的資源やノウハウを2館共通で活用し、管理・運営面でも連携する			実施	実施	実施しました。				



評価	
自己評価	行政評価
<p>【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響が残る年度となりました。夏には定員数をもとでの公演が可能となりましたが、準備期間のガイドラインに従って計画したため、定員数減、開催場所の変更などの対応をしておいた実施となった事業もありました。また感染症対策のための消毒等は継続しました。物価高騰による光熱水費の上昇も大きく、人的・物的・資金的に負担の多い年度となりました。</p> <p>地域でのイベントへの参加が難しい年度でしたが、吉野町と2館で開催した日舞ws、関内ホールを加えた3館でのバンドイベントなど、他館との連携事業を実施することが出来ました。</p> <p>年度末には複合施設内の区分所有者の入替があり、あらたな入居者である「子育て支援拠点」との協力関係を築くことが出来ました。</p> <p>【課題】 施設の老朽化が室場貸出にも影響がでるレベルとなってきました。具体的には室外機の故障(半導体不足により修繕は迅速にできなかった)により通算3か月程度一部の室場の貸出ができない事態となりました。他の室外機も導入時期は同じなので、予断を許さない状況と思われます。エレベーターやホールの機材など、他の設備についても同様です。</p> <p>新型コロナウイルス関連の各種制限が撤廃となっても、一度活動を縮小した団体の再開はなかなか難しいように見受けられます。</p>	<p>【評価できる点】 新型コロナウイルス感染症影響下で、感染症対策を実施しながら、様々な事業を実施することが確認できました。イベントが複数実施ができなかった中で、関内ホールを加えた3館連携事業を展開することができ、他館との連携事業実施を達成できたことを評価することができます。</p> <p>また、保土ヶ谷区地域子育て支援拠点「こころサテライト」を新たな区分所有として迎え、さまざまな調整を実施し、関連する手続きを完遂することができました。岩間市民プラザを利用する世代が広がると考えますので、引き続き連携し、幅広い事業展開ができるよう取り組んでください。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 残念ながら新型コロナウイルス感染症対策のために実施できなかった事業がいくつかありました。今後どのように工夫したら実施できるのかを検討し、事業が展開できることを期待しております。</p> <p>施設の老朽化については、複合施設でありますので、どのように実施し、利用者にも影響が出ないかを確認してください。また日頃から気になる設備の状態を点検・記録し、市ともどのように対応するのが施設運営に支障がでないかを確認してください。</p>